

和泉市地域公共交通計画事業にかかる目標指標の達成状況

(同計画抜粋 P62)

【施策目標】

地域特性等を踏まえた公共交通の運行及び利用促進施策の実施により、

1. 公共交通利用者数を現状よりも増加させることを目指します。
2. 地域バスにおける収支率は新たな公共交通の導入を考慮し、14%を目指します。
3. 公共交通における自治体負担額は新たな公共交通の導入を考慮し、941 円/人を目指します。
4. 人口に対する鉄道、バス※の利用率は現状よりも増加させることを目指します。

※バス：地域間幹線バス、一般路線バス、地域バス

5. 公共交通に対する市民満足度を、現状よりも向上を目指します。

(1) 利用者数に関する目標

目標指標、算出方法		基準値(基準年度)	目標値(R10 年度)	R7 年度事業評価
公共交通利用者数 市内鉄道各駅(光明池含む)乗車数、 一般路線バス、地域バス(めぐ～る、 路線維持バス、オレンジバス)の年間 乗車数の合計		鉄道・一般路線バス： 2,025 万人/年 (R3 年度)	鉄道・一般路線バス： 2,025 万人/年以上	鉄道・一般路線バス： 2,297.4 万人/年 (R6 年度)
		地域バス：10 万人/年 (R4 年度)	地域バス：10 万人/年 以上	地域バス：164,760 人/年 (R7 年度)
市が補助を行うバス路線の収支率 市補助路線、めぐ～る、路線維持バス、 オレンジバスの合計 運行収入÷運行費用		16%(R4 年度) (市補助路線、めぐ～ る、路線維持バス、オ レンジバスの合計)	14% (市補助路線、めぐ～ る、路線維持バス、デ マンド型交通の合計)	19%(R7 年度) (めぐ～る、路線維持バス、 デマンド型交通の合計)
公共交通における自治体負担額(1 人当 たりの費用) 市補助路線、めぐ～る、路線維持バス、 オレンジバスの 1 人当たりの費用の平 均		684 円/人(R4 年度) (市補助路線、めぐ～ る、路線維持バス、オ レンジバスの合計)	941 円/人 (市補助路線、めぐ～ る、路線維持バス、デ マンド型交通の合計)	797 円/人(R7 年度) (めぐ～る、路線維持バス、 デマンド型交通の合計)
人口に対する鉄 道・バスの利用率 市内鉄道各駅 (光明池含む)乗車 数、一般路線バス、 地域バスの年間乗 車数の合計÷和泉 市住民基本台帳人 口(年度末)	鉄道	26% (R3 年度)	26%以上	29% (R6 年度)
	一般路線バス	4.4% (R3 年度)	4.4%以上	5.6% (R6 年度)
	地域バス	0.15% (R4 年度)	0.15%以上	0.25% (R7 年度)

※括弧書き：評価対象年度を表し、市人口は「統計いずみ」の年度末の数値を使用

※地域バス：市が主体で運行しているコミュニティバス「めぐ〜る」、路線維持運行バス、
地域バス「オレンジバス」を総称して「地域バス」と呼称

地域バス「オレンジバス」は R6 年 1 月末で運行を終了し、R6 年 2 月からデマンド型交通

（２）市民満足度に関する目標

目標指標、算出方法	基準値(基準年度)	目標値(R10 年度)
公共交通の利便性に対する市民の満足度 ○市民アンケートにおける公共交通の満足度※ （「満足している」「やや満足している」）の回答の割合 ※JR・南海電鉄、一般路線バス、地域バス、タクシーの各満足度の 平均値	14% R5 年度調査	14%以上
地域バスの利便性に対する市民の満足度 ○市民アンケートにおける地域バスの満足度 （「満足している」「やや満足している」）の回答の割合	3% R4 年度調査	3%以上

⇒ 最終年次において、市民アンケート調査を実施し、市民満足度や公共交通に対する評価、
引き続きの改善要望を把握するものとします。